

私立大学図書館協会 2008年度第1回国際図書館協力委員会議事要録

日時：2008年5月9日（金）15:00～16:30

場所：大阪学院大学図書館 1F 特別閲覧室

出席者：飼沼敏雄（名城大学）、風間茂彦（慶應義塾大学）、新田晶平（大阪学院大学）
深川晃而（同志社大学）、三浦治（帝京大学）、丸本操（東京経済大学）
〔事務局〕関達朗（東京経済大学）

配付資料

- (1) 2007年度決算資料および2008年度予算資料
- (2) 搬送事業申請大学一覧（1999-2007）
- (3) 2008年度海外派遣研修協定書および費用請求書（インボイス）
- (4) 2008年度国際図書館協力委員会名簿
- (5) 海外集合研修実績一覧（2002-2007）
 - ・オハイオ州立大学からの文書（2007年度集合研修について）
 - ・ワシントン大学図書館からの文書（2007年度集合研修終了の連絡）
- (6) 2008年度年間活動計画

報告事項

1. 2007年度会計報告および2008年度予算について

- ・資料1-1～2に基づいて、委員長より2007年度の予算執行状況および、2008年度予算について報告があった。
- ・配布資料では、2007年度の予算執行状況が把握しにくいという指摘があり、会長校作成の決算報告を、改めて各委員に回覧することとした。

2. 2008年度第1回搬送事業について

- ・事務局より2008年度第1回搬送事業の申請状況について、5月9日の時点で正式な申請が1件と、問い合わせが3件であるとの旨報告があった。

3. 2008年度海外派遣研修について

- ・委員長より資料3-1～2に基づいて2008年度海外派遣研修の進捗状況について下記のように報告があった。
 - 協定書の取り交わし完了。
 - 派遣者申請書送付完了。
 - 費用払い込み完了。
- 6月に過去の派遣者を招聘して今回派遣者との交流会を開催する予定。

4. その他

2008年度国際図書館協力基金への支援依頼予定

- ・事務局より2008年度は6月末から7月初旬にかけて、会長校から協賛企業への支援依頼が発送される予定である旨報告があった。
- ・あわせて新規に支援依頼が可能と思われる企業があれば協賛企業リストに追加するので、各委員に検討するよう依頼があった。

2008年度国際図書館協力委員会名簿について

- ・事務局より 2008 年度国際図書館協力委員会名簿が提示され、内容について確認を行った。

審議事項

1．2008 年度海外集合研修の企画について

- ・委員長より研修先の候補として下記の 3 件の提示と補足説明があり、これに基づいて審議を行った。

OCLC とオハイオ州立大学

2007 年度集合研修の企画検討の際にオハイオ州立大学担当者より、実施するなら 9 月頃でないと対応できないとの連絡を受けており、今からでは準備期間不足なので実現可能性は低い。

ピッツバーグ大学

2007 年度集合研修を実施したワシントン大学で継続的に実施できればと考えていたが、担当者より、受け入れ側の負担が非常に大きいので毎年の協力は無理であるとの連絡を受けている。その代替の案として同担当者より を提示されたが、この場合先方との直接交渉となるため、どこまで実現可能性があるか計りがたい。

韓国の図書館見学

韓国では、12 月に新国立図書館がオープンするため、これにあわせて見学ツアーを企画する。

- ・ の場合は、現地での案内を含めたコーディネーターが必要ではないかとの意見があり、委員長より、候補者がいるので今後交渉を始めたいとの説明があった。
- ・ その他意見交換を経て、 を中心に企画を進めるが、 についても並行して打診を行うという方向で了承された。

2．国際図書館協力シンポジウムについて

- ・ 2007 年度第 6 回委員会の際に了承されたとおり、2008 年度は企画については検討を進め、状況によって開催するしないを判断した上で、次期委員会に引き継ぐということが再度確認された。
- ・ 企画検討に当たっては、上記集合研修企画案の と関係付けるのがよいのではないかという案が委員長より提示され、その場合のテーマ設定などについて意見交換が行われた。

3．委員会開催予定について

- ・ 今後の委員会開催スケジュールが以下のように決定された。

第 2 回 7 月 18 日（金） 於：帝京大学

第 3 回 10 月 9 日（木） 会場未定

第 4 回 2009 年 1 月 16 日（金） 於：名城大学（変更の可能性も有）

以 上